

フリガナ  
患者氏名  
生年月日

年 月 日

検査説明担当医師

## 説 明 書

この用紙は、あなたが受ける FDG-PET/CT 検査の同意書です。担当医師から検査に関する説明を受け、検査の副作用と放射線被ばくに関する留意事項をご確認ください。

### 1. 検査概要

1-1) PET とは、Positron Emission Tomography（陽電子放出断層撮影）の略です。

PET/CT とは、PET と CT を融合させた画像を同時に得ることのできる検査です。

1-2) PET/CT 検査では、FDG と呼ばれる薬剤を静脈注射で投与します。注射された FDG は糖代謝が盛んな細胞に集まります。悪性腫瘍細胞は正常な細胞より活動が活発で、より多量のブドウ糖を必要とします。PET/CT 検査はその特徴をとらえ、病気の場所を特定することが可能です。悪性腫瘍の検査目的以外に、血管炎などの炎症を検出することができます。脳や心臓の疾患に対して用いることもあります。

1-3) 薬剤の注射から検査終了まで、合わせて 2 時間程度かかります。

### 2. PET/CT 検査における副作用と放射線被ばくについて

2-1) 使用する薬剤は  $^{18}\text{F}$ -FDG というブドウ糖によく似た構造の物質に放射性物質を合成したものです。本薬剤における重篤な副作用は報告されていません。まれにかゆみや発疹を生じることがありますが、通常は治療を必要としない程度で自然に軽快します。

2-2) 使用される放射性同位元素の半減期は約 2 時間です。注射した薬剤と CT 検査による被ばく線量は、自然界で 1 年間に受ける放射線量とほぼ同等であり、胃の X 線バリウム検査と大きく変わりありません。この被ばく線量で人体に影響をおよぼすことはほとんどないとされています。

## 同 意 書

わたしは、予定された FDG-PET/CT 検査の内容とその必要性、検査に関する留意事項について担当医師より説明を受け、理解しましたので検査を受けることに同意します。

同意年月日 西暦 年 月 日

患者本人または代理人 署名  
(代理の場合続柄 )

順天堂大学医学部附属静岡病院  
(2023.3 改)

※原則的に 1 回の検査につき 1 枚の同意書が必要です。